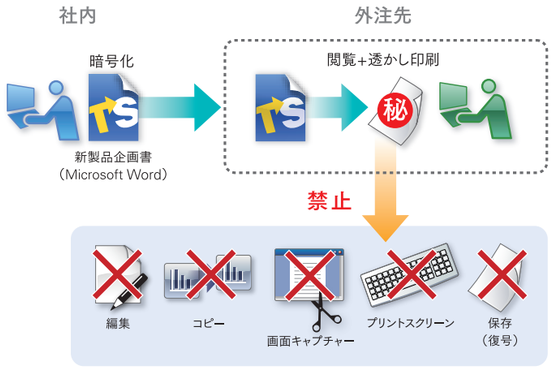
利用例1

外注先に提供した顧客情報の二次利用を防止したい

外注先に送った顧客情報が不正利用されることを懸念しています。
ファイルを開いて印刷できても、データのコピーや編集を禁止し二次利用させない
セキュリティ対策を探しています。

トランセーファー BASICで解決

ファイルに「閲覧印刷」権限を設定して暗号化することで、閲覧／印刷を可能に、
コピー／編集／保存／画面キャプチャー／プリントスクリーンなど不正利用を禁止できます。
利用者の情報（ログインユーザー名など）を透かし印刷に設定しておくと、不正な印刷
持ち出しへの抑止効果となります。



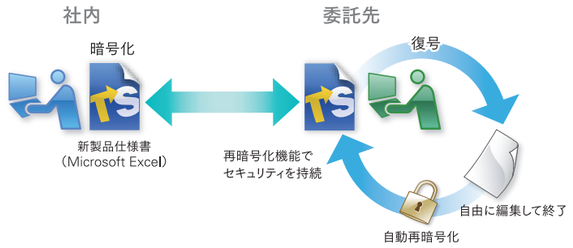
利用例2

委託先と新製品の仕様書を安全にやり取りしたい

新製品の仕様書や設計書を委託先と作成しています。以前はMicrosoft Excelデータを
パスワード付きzipファイルで暗号化し、やり取りしていました。
安全に委託先とやり取りする方法を探しています。

トランセーファー BASICで解決

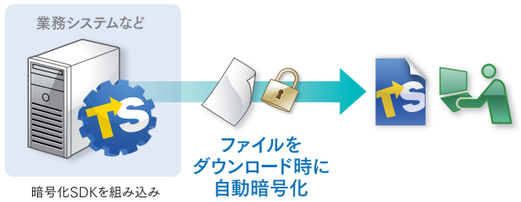
「復号」権限を設定したファイルで運用します。復号したあとは、自由に編集でき、
終了時に自動的に再暗号化されます。暗号化し忘れがなく、セキュリティを持続できます。
暗号化で圧縮もされるため、パスワード付きzip代わりで手軽に利用できます。



システムに暗号化機能を組み込み

トランセーファー BASIC 暗号化SDK

「トランセーファー BASIC 暗号化SDK」は、システムに組み合わせ、コマンドラインで
ファイルを自動暗号化するSDKです。既存のシステムにセキュリティ機能を
追加・拡張したい場合、本製品を利用して組み込めば、一から開発するよりコストも
作業負担も大きく軽減でき、短期間で対策可能です。



暗号化SDKを組み込み

動作環境や価格など詳細については、Webサイトでご確認ください。
https://www.tsslk.jp/ts/basic/type/

動作環境

最新の動作環境は、Webサイトでご確認ください。

■暗号化ツール「TSLocker」／閲覧ツール「TSViewer」

対応OS　●Windows

※インストールには管理者権限が必要です。

ファイル暗号化＆二次利用防止ソフト

トランセーファー BASIC

TSS LINK



社内外に配布するファイルのコピー／印刷を禁止し不正な二次利用を防止

■社内外に配布するファイルを閲覧限定にして、不正利用を防止します。
■ファイルに端末限定や有効期限を設定することで、よりセキュリティを高めます。
■日本語環境以外にも対応し、海外拠点へのファイル配布に利用できます。
■サーバー構築やユーザー管理が不要で、管理者の負担を軽減します。
■暗号化するユーザー数に応じたライセンスで、導入しやすい価格体系です。

製品詳細、価格などについては、Webサイトをご覧ください。

※トランセーファー、TranSaferは、株式会社ティエスエスリンクの登録商標です。※Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※その他、記載された会社名、製品名などは、各社の登録商標または弊社の商標です。※本紙に記載されている内容は、改良のため、予告なくデザインや仕様を変更することがあります。

2024年11月現在　第7版

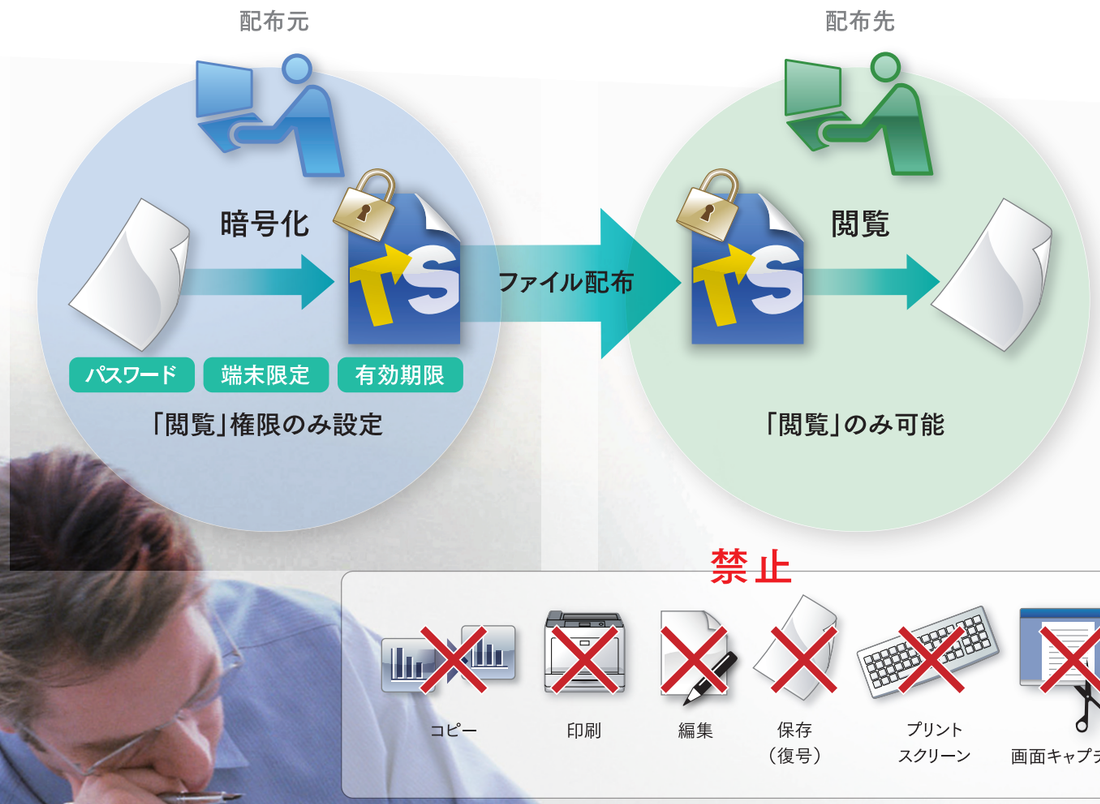
株式会社 ティエスエスリンク

情報サイト　https://www.tsslk.jp/ts/
お問い合わせ　info@tsslk.jp（もしくは以下のTELまで）
〒770-8053 徳島県徳島市沖浜東3-46 Jビル東館4F
TEL：050-1748-1144

製品に関するお問い合わせは

ファイルの情報漏洩防止を「暗号化」と「権限制御」で実現

「トランセーファー BASIC」は、技術図面や企画書など社内外に配布する重要ファイルを暗号化し権限制御することで、不正利用を防止します。
PDFやWord／Excelファイルなどに対して、「閲覧」「閲覧印刷」「復号」の3つの権限を設定して制御できます。「閲覧」権限では、閲覧だけ許可し、コピー／印刷／保存／画面キャプチャーなど不正な利用操作を禁止します。高セキュリティと軽快な操作性を兼ね備えています。

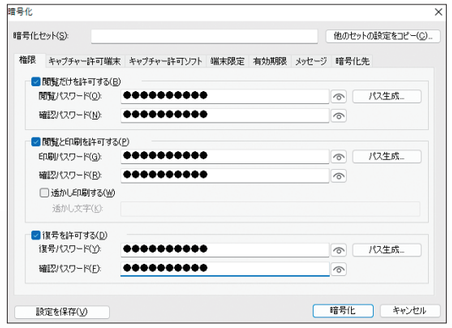




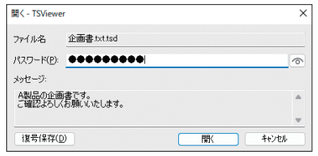
※「閲覧印刷」権限が設定されている場合は、印刷できます。透かし印刷も可能。
※「復号」権限が設定されている場合は、平文に戻りすべて利用できます。

特長1 社内外に配布する重要ファイルを閲覧限定にして、不正利用を防止

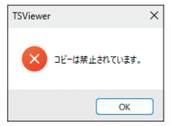
ファイルに、閲覧／閲覧印刷／復号の権限とパスワードを設定して暗号化します。たとえば閲覧権限を設定して暗号化した場合は、ファイルを開いたときに閲覧のみでき、編集／コピー／印刷／保存／キャプチャーなどによる不正利用を防止できます。
権限やパスワードなどの設定は、まとめて暗号化セットに登録できます。テンプレート化された暗号化セットを利用して、よりスピーディに暗号化できます。



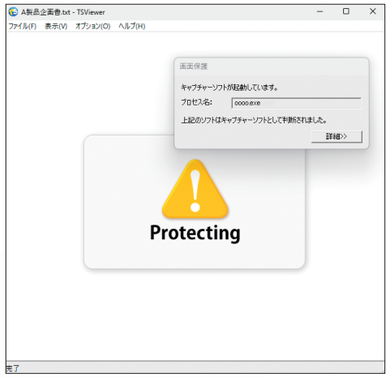
※1つのファイルに、最大3つの権限（閲覧／閲覧印刷／復号）と各パスワードを設定して暗号化できます。



※ファイルの閲覧は、暗号化時に設定されたパスワードで認証して開きます。メッセージも確認できます。



※ファイル閲覧時にCtrl＋Cや右クリックメニューを実行してもコピーできません。



※キャプチャーソフトの起動を検知すると、画面を非表示にして画面キャプチャーを禁止します。禁止キャプチャーソフトは約5,000種以上に対応しています。

特長2 ファイルに端末限定や有効期限を設定してより安全に

暗号化ファイルを利用する端末を限定できます。限定した端末以外は利用不可となり、高いセキュリティ環境を確保できます。
さらに、ファイルに有効期限（日付／時刻）や、期限切れ後の自動削除を設定できます。厳密に利用制限することで、より安全性を高められます。



※端末限定機能により、登録した端末以外ではファイルを開けません。





※有効期限に日付と時刻を設定できます。有効期限を過ぎたファイルは開けません。期限を過ぎたファイルの自動削除も設定できます。

特長3 日本語環境以外にも対応 海外拠点へのファイル配布に利用

多言語に対応し、日本から海外拠点へのファイル配布にも利用できます。パスワードで開く使いやすい操作性は、配布先の利用負担を軽減します。海外利用でよく懸念される、インターネット接続できないオフライン環境下でも利用できます。

特長4 サーバー構築やユーザー管理が不要 管理者の負担を軽減

サーバー構築やユーザー管理が不要で、管理者の運用負担を軽減できる製品です。パソコンにアプリケーションをインストールするだけで利用できるため、導入時の手間がかかりません。ファイルの暗号化や閲覧操作も簡単で、特別な教育は必要ありません。

特長5 暗号化するユーザー数に応じたライセンスで、導入しやすい価格体系

ファイルを暗号化するユーザー分のみライセンス購入します。閲覧するだけのユーザーはライセンス無償です。ファイル配布先が多い場合でも、低コストで導入できます。



